

KCJS28 日本語 C クラス 2016 年 秋学期

<講師>

- ・ 担任: ^{まえぐち おりえ}前口 織江 oy18@columbia.edu ^{ふくたんにん やまおか ちひろ}副担任: 山岡 千弘 cy2185@columbia.edu
- ・ 講師室: 扶桑館 2 階 F203 電話: (075)251-4996
- ・ 前口のオフィスアワー 11:30~2:30

<授業時間>

- ・ 1 時間目 9:30-10:30 (60 分)、2 時間目 10:40-11:30 (50 分)

<このコースの目標>

1. 書かれたものや言われたことを正しく理解できるようになる。
2. 自分の言いたいことを分かりやすく説明できるようになる。
3. 場面に合った話し方をすることができるようになる。

<コースの内容>

読む: いろんなジャンルの文章を読んで、正しく読む力と単語の力をつける。

書く: 言いたいことを分かりやすく書く練習をする。

聞く: 聞いたことを理解し、よく分からなかった時は、聞き返せるようになるための練習をする。

話す: 言いたいことをわかりやすく話したり、場面に合った話し方をする練習をする。

文法: 初級文法を復習して使えるようにする。日本語能力試験(JLPT)3~2 級の文法を使えるようになる。

漢字: 小テストをすることで、漢字力をつける。『Kanji in Context』からレベル 3 の約 450 字。

個人プロジェクト: 自分で決めたテーマを調べたり、日本人に聞いたりする。最後に発表をする。

CIP: 日本人のグループに参加し、授業では学べない表現や文化を学ぶ。

<注意>

日本語コミットメント: 授業以外でも日本語を使う。

宿題: ①出す日を守る。遅れたら点が半分になる。

②再提出(Redo)の宿題は三日以内に出す。

③自分一人です。 友達に見せてもらったり、直してもらったりしてはいけない。

欠席: 休む時は必ず連絡をする。

遅刻: 20分以上の遅刻は欠席。

予習: 予習をしてから授業に来る。

試験/小テスト: 受けられなかった試験を後で受けることはできない。

**Honor Code : Office of Global Programs Columbia University Terms of Participation と
Columbia College Honor Code (<http://www.college.columbia.edu/ccschonorcode>)を守る。**

<日本語が上手になるためのコツ(tips)>

- ①日本人とたくさん話す: ランゲージパートナーなどを使って、いろんな人と話す。
- ②習ったことを使う: 宿題や作文に習った漢字や文法を使う。話す時も習った表現を使ってみる。
- ③オフィスアワーを使う: 分からないことは一人一人違うので、オフィスアワーに行って、質問をする。
- ④タイムマネジメント:
 - a) 宿題の多さは毎日同じではないので、スケジュールを見て、時間をうまく配分する(distribute)。
 - b) 小テストの勉強と書く宿題だけに時間を使わない。読み物などの予習もとても大切。
 - c) 単語や漢字を覚えるには、「長い時間×1 回の勉強」より、「短い時間×何回かの勉強」

<成績>

試験（3回）	21%
期末試験	10%
漢字、単語テスト	15%（一番低い成績は落とす）
会話テスト（2回）	4%
宿題、作文	15%
授業参加・準備	15%（下から6回分の低い成績は落とす）
発表	10%
CIP	10%

94.0 -	A
93.9 - 90.0	A-
89.9 - 87.0	B+
86.9 - 83.0	B
82.9 - 80.0	B-
79.9 - 77.0	C+
76.9 - 73.0	C
72.9 - 70.0	C-
~	
59.9 -	F

GRADING CRITERIA (Attendance, Preparation & Participation)

- 10 : Preparation for assigned materials is thoroughly done including looking up vocabulary and kanji.
The student is able to actively participate in class activities, and their performance is smooth.
In student's preparation, unclear areas are identified clearly.
The content of the material is understood accurately.
Performance clearly reflects the feedback instructors have given previously.
- 8 : Participation is active, but preparation has not been thoroughly performed including looking up vocabulary and kanji.
In the student's preparation, unclear areas are not identified clearly.
The content of the assigned material is not understood thoroughly or accurately.
Performance is not smooth in order to communicate without difficulty.
Mistakes are repeatedly made in the same areas where instructors have given feedback previously.
- 6 : Lack of thorough preparation hinders active participation in class activities.
In the student's preparation, unclear areas are not identified clearly.
Half of the vocabulary and kanji are not looked up.
The content of the assigned material is only partial or greatly misunderstood.
- 5 : Preparation has not been performed, and nor is there participation in class activities.
In the student's preparation, unclear areas are not identified clearly.
Most of the vocabulary and kanji are not looked up.
The content of the assigned material is not understood.
- 0 : Absent